



雨の多い季節になりました。湿度も高くなるので疲れがとれにくかったり、何となく身体がだるかったりします。このような梅雨の間に雲が切れて青空が広がって、ほっとする時があります。古来、この晴天は“五月晴れ”といわれてきました。6月は旧暦では5月にあたるので、このように言われます。梅干し作りは梅雨の最中に行われ、五月晴れの時に梅を干します。古代中国で梅酢を作る際の副産物として生まれたものだそうで、梅酢は東大寺大仏の鍍金(とんきん=金のメッキ)の際にも用いられたようです。

## 新鮮な体験と驚き

### 文化財に関する仕事を体験した中学生

中学生の「社会体験チャレンジ事業」は様々な種類の実際の職場で2~3日参加・体験する活動です。多数の事業所・店舗等のご理解とご協力で行われています。中学校としては「キャリア教育(進路指導)」や「総合的な学習」に位置付けて計画されています。この体験活動は市役所でも受け入れています。

生涯学習課で受け入れた中学校のトップを切って、先日、市立栄進中学校2年生4人が旧東方村中村家住宅で体験活動をしました。その様子をご紹介します。

### キンチョ〜で喉が渴いた

#### (古民家案内業務の体験)

朝“出勤”した4人の中学生は、まず施設の清掃から始めました。その後、中村家やその住宅について一通りの説明を職員から聞いてから、4カ所に分担して案内・説明をしました。まだ来館者がいなかったため、職員がお客様の役をしました。1回目はなかなか声が通らず、説明が滞ってしまうことも度々でしたが、2回目にはそれが改善されていました。

「ここは床下収納できます。野菜などを入れました。」(案内体験)



### 呼吸を静かに、慎重に慎重に

#### (古文書整理の体験)

市域の方から提供された古文書は、巻いたり畳んであるもの、綴じてあるものの多くは紙が癒着している個所があって、竹ペラで丁寧に剥がしながら開いていかなければなりません。和紙の感触を確かめながら、破れたり傷ついたりしないよう、恐る恐る作業を進めていました。そして職員の助言を受けながら、目録に記録する作業も行いました。

竹ペラで注意深く剥がし、埃を払いながら開いていきます。(古文書整理体験)



傷をつけないように、丁寧に、しっかりと泥を落とします。(遺物整理体験)

### 馬と山羊の毛の歯ブラシで優しく

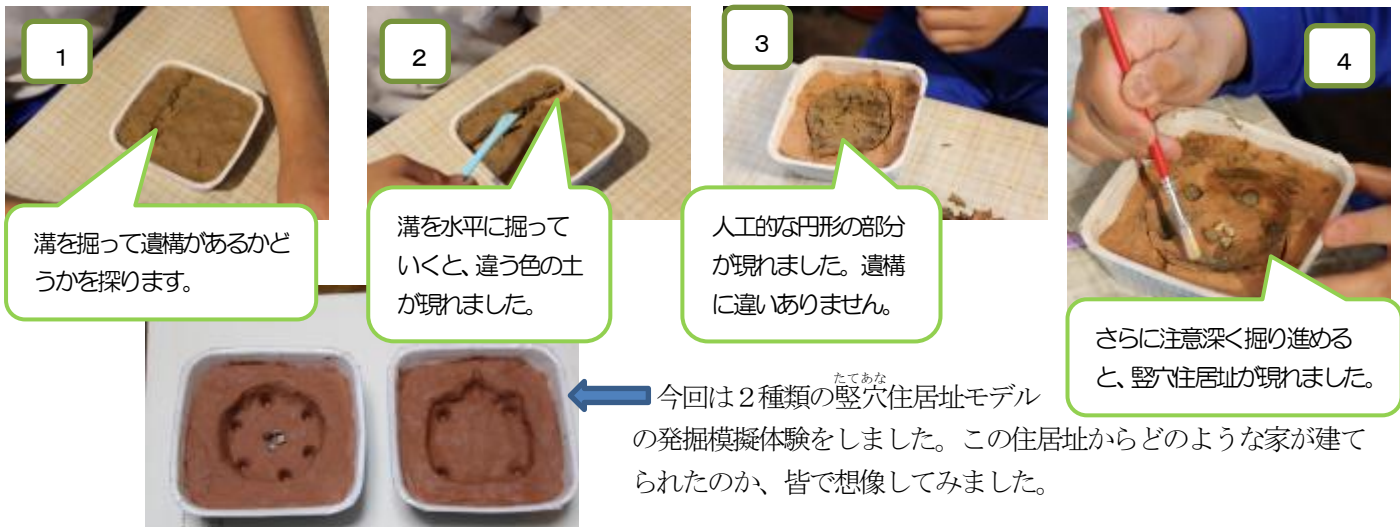
#### (遺物整理の体験)

市内の<sup>おおみち</sup>大道遺跡から出土した土器、瓦は泥にまみれているので、水に浸しながらそれを落としていきます。その際に用いられるのが歯ブラシですが、これは馬と山羊の毛でできたものです。土器に当てる面の毛が均一で、柔らかく弾力性があるからです。当初予定していた作業時間が足りなくなるくらいに集中して作業をしていました。



## 土の色の違いに注意して掘る (発掘模擬体験)

住居址などの発掘について、「どうしてそこにあることがわかるの?」という疑問を持たれる方も多いと思います。(「古民家だより」No.4 参照) そこで遺構のミニチュア模型を使った発掘模擬体験をしました。



## 「一つ一つの作業を丁寧にすることが大切」

2日間の体験活動の中で考えたことや感じたことを、4人は次のように書いています。今回の体験を大切にしたいと思っています。

- ★(職員は)簡単に案内してる様に見えたけど、話す内容を覚える事も難しかったし、緊張することもあった。
- ★市役所は越谷の歴史の教育に関して仕事しているのは知っていたけど、土器を洗ったり発掘したりすることは知らなかった。
- ★土器を洗っていて、模様や文字が出てこないかワクワクしました。
- ★一つ一つの事を丁寧にやるということが、この仕事に限らず大切だということに気づいたので、将来に生かせるようにしていきたいと思いました。
- ★古文書などは越谷市の財産であることがわかりました。

防災フェス2019

## 浅間山噴火と越谷

先月25、26日の防災フェスでの展示「浅間山噴火と越谷～難儀之内へ加はり候」は、多くの皆様に見ていただくことができました。有難うございました。展示の概要は次の通りです。

- 1 浅間山大焼・・・天明3年(1783)の噴火の概要を当時の絵図も合わせて展示しました。
- 2 旧鎌原村の惨状・・・浅間山から12kmにある鎌原村では田畑が5m以上の土石に埋まり、人口の16%あまりしか生き残れなかった様子を紹介しました。
- 3 その時、越ヶ谷では・・・130km離れた当地でも灰が降ったために凶作となり、噴煙で昼でも<sup>あんどん</sup>行燈を灯したことなど、市指定文化財の当時の記録「<sup>こしまきなかしんでん</sup>越巻中新田の産社祭礼帳」や「<sup>おびしやさいれいちょう</sup>西方村旧記」を紹介しました。
- 4 復興と慰霊・・・旧鎌原村では残った人々の村再建がどのように行われたか、驚くべき方法を当時の幕府役人が「<sup>なみぶくろ</sup>耳囊」に記していました。そのことを紹介し、越谷市域では田畑の<sup>けみ</sup>検見を領主に求めたり、飢えた人々に穀物をふるまった名主のことを紹介しました。

### この農作物は何でしょう??

大間野と旧東方村(レイクタウン)の両中村家住宅の庭で栽培を始めました。盛夏の時期に花が咲き、秋に実をつけます。かつては市域の村々で生産されていました。

